

禁安1-128

労働者文庫第二冊

特500

945

社会民主主義と労働階級

調査済

1483

五
山本光一
1483
副本
禁下止

5-5-26

希望閣刊



0034521000

2

0034521-000

特500-945

社会民主主義と労働階級

山本光一・著

希望閣

昭5

AGC

この著作物は、著作権者不明のため、著作権第67条の規定に基づき、平成12年3月2付けで文化庁長官の裁定を受け使用するもの

函 安寧

號 206

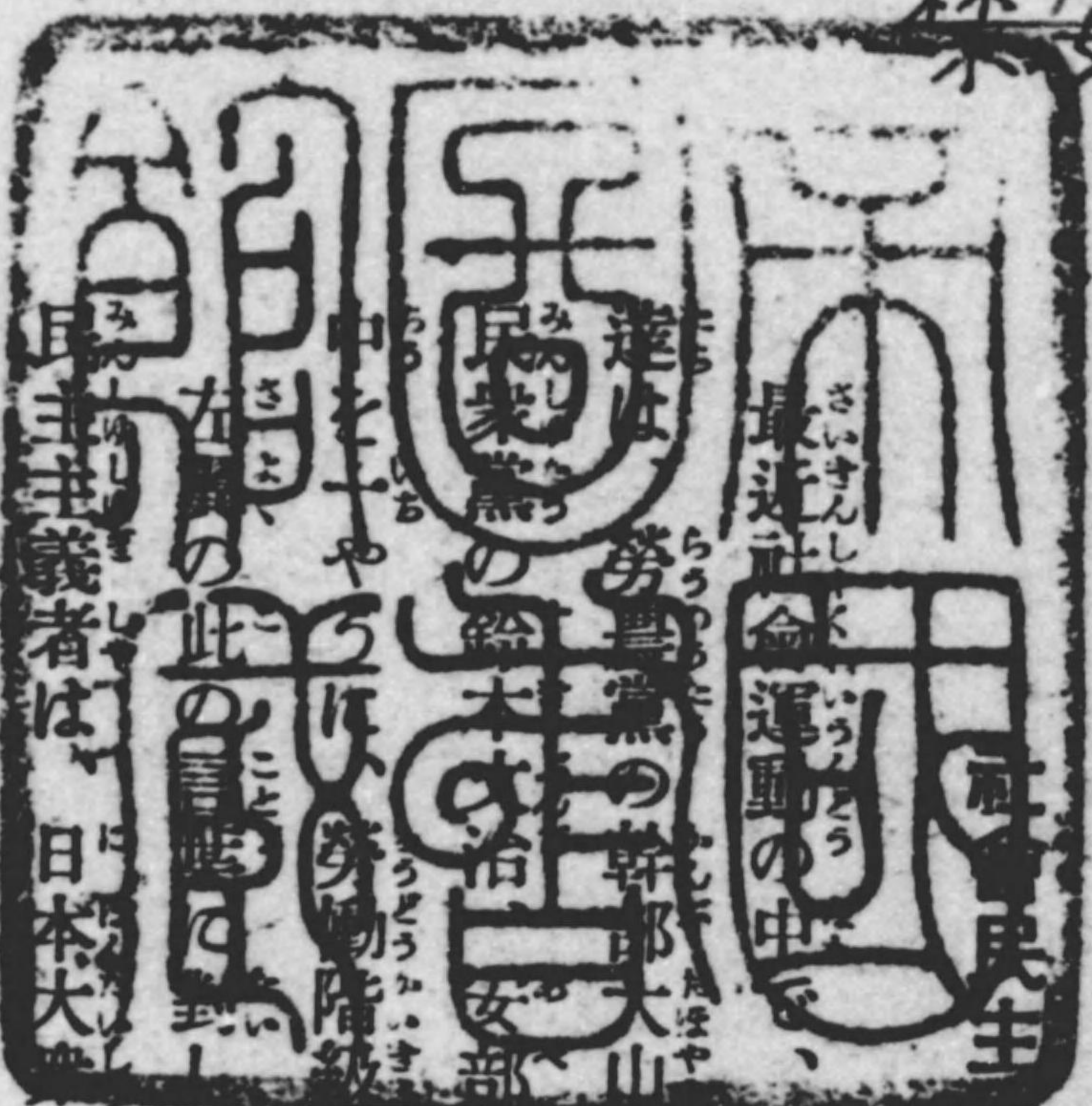
永久保存

林安1-128

特500-94

社會民主主義者と労働階級

社會民主主義者と云ふ言葉



最近社會運動の中で、社會民主主義者と言ふ言葉がよく使はれて居る。左翼の人

達は、労働黨の幹部大山、細迫一派を、彼等は左翼社會民主主義者だと言ひ、社會

黨の鈴木、安部磯雄等を、彼等は右翼社會民主主義者だと言ひ、此の連

中を、やうに労働階級の裏切者として排斥して居る。

左翼の此の言葉で、て労働黨の連中は、俺達ちや社會民主主義ちや無い、社會

黨、労働大衆黨、舊無産大衆黨、社會民衆黨の幹部連中だ

と、社會民主主義者とよばれるのが、何か汚らわしいことでもあるかのやうに、そ



の肩書きを他の政黨の幹部の上に投げかへして居る。さうかと思ふと、社會民衆黨の鈴木一派は、俺達ちや社會民主主義者だ、俺達ちや社會民主主義の指導精神の下に、日本の労働階級の生活改善と解放の爲めに闘ふんだと、社會民主主義が社會運動の本流であるかのやうに大見得を切つて居る。

處が、茲に不思議にたへないのは、本年の一月に社會民衆黨から分離して、東京で結黨式を擧げた山内鐵吉、大矢省三、田萬清臣一派の全國民衆黨は、『鈴木、西尾、松岡の一派は、資本家を買収されて社會民衆黨の指導精神を汚した。彼等は最早や社會民主主義者では無い、全國民衆黨こそ日本に於ける唯一の純正社會民主主義政黨だ』と、社會民衆黨と社會民主主義の本来あらそひをして居る。

左翼は勞農黨以下の各無産政黨を社會民主主義政黨であり、裏切者であると言ひ、勞農黨はさうでは無いと言ひ、社會民衆黨と全國民衆黨とは、社會民主主義の本来

あらそひをして居る。

一體誰れが社會民主主義者であり、また、社會民主主義者とはどんな連中の事であり、社會民主主義者は労働階級にどんな關係をもつて居るのか？

事實はかうなのだ。

勞農黨の大山、細迫等は、彼等が如何にいやがらうとも、左翼陣營の人達が言ふやうにまがいのない、社會民主主義者であり、それ以下の勞農大衆黨の水長、神兵、舊無産大衆黨の堺、山川、猪俣、日本大衆黨の麻生、河野、田所、社會民衆黨の鈴木、安部、松岡、西尾、全國民衆黨の大矢、山内、田萬、併せてそれ等の各政黨の幹部連中は、勿論言ふまでもなく社會民主主義者であつて、そして之等の社會民主主義者は、左大山から右鈴木に至るまで、全部労働階級の味方ではなくして、反對に、労働階級の許し難き敵であるのだ。従つて全國民衆黨、社會民衆黨の

幹部連中が、俺達ちや社會民主主義者だと名乗るのは、彼等自ら労働階級の裏切者である事を大衆に自白することであり、彼等自ら裏切者を以て任ずることになるのだ。

四

労働黨の大山一派が、社會民主主義者と稱ばれることを拒否し、その肩書きを他政黨の幹部に投げつけるのは、他を社會民主主義者とよぶことによつて、彼等自身をマルクス主義者であるかの如くに大衆に思はせ、彼等が支配階級に負はされて居る、労働階級偽瞞の責任を果たさんとするコンタン以外の何者でも無いのだ。

これから私は、彼等社會民主主義者が、事實労働階級の裏切者であることを、彼等の主張を批判することによつて、また、彼等が今日までにやつて來た、數多くの裏切りの事實をあげる事によつて、諸君の前に曝露することにしよう。

社會民主主義者とはどのやうな連中の事か？

社會民主主義者とは一體どんな連中のことを言ふのか？

社會運動に於ける唯一の正しき指導精神は、階級闘争と××とによつてのみ、労働階級の生活の改善と解放がなされると主張するところの、マルクス、レーニンの主義である。處が一部の社會運動の指導者達は、之れに反對して、労働階級の生活の改善と解放は、階級協調と、社會進化にまたねばならぬと主張して居る。此の階級闘争と××に代ふるに、階級協調と社會進化を主張し、實際の行動に於ては労働階級を裏切つて、支配階級に協力するのが社會民主主義者なのだ。

従つて、階級協調と社會進化を主張する、社會民衆黨の幹部、並びに、全國民衆黨の指導者は、彼等が自稱する如く、社會民主主義者であることは勿論だ。

五

處が大山一派の勞農黨の指導者や、舊無産大衆黨、勞農大衆黨、日本大衆黨、其他の地方無産政黨の幹部は、階級協調も社會進化も看板にせず、矢張り階級闘争と××とを看板にして居るが、彼等も全民、社民黨の幹部と同様に、立派な社會民主主義者なのだ。何故かと言ふと、世界各國に於て、また日本に於ても、正しきマルクス、レーニンの指導精神に基いて行動する政黨は、×××に本部をもつ×××××の各×××である、各×の×××をおいて外には存在しないのだ。處が上に述べた各無産政黨の指導者達は、この唯一の勞働者政黨の指導を拒否するのみか、之れと對立する別個の政黨をつくつて居るのだ。口に階級闘争を叫び革命を唱へやうとも、唯一の勞働者黨の指導を拒否するものは、彼等が之を承認すると否とに拘らず、完全に社會民主主義者なのだ。階級闘争のより激烈化するにつれて彼等は、必然的に鈴木、西尾、松岡等の社會民衆黨の指導者や、山鐵、大矢等の全國民衆黨のフダ

附きの社會民主主義者と、やがてその食卓を共にするのだ。

社會民主主義者とは、上に述べた如く階級協調をふりまわして勞働階級を偽購する連中のことであり、そして社會民主主義者の存在は、今日では世界的の状態であるのだ。

獨逸に於ては、産業民主主義を掲げて勞働者を偽購する、獨逸社會民主黨の指導者連、英國に於ては、産業平和主義を高唱する、資本家の代理人英國勞働黨の領袖連、佛國に於ける社會黨の指導者達、ひつくるめて、第二インターナショナルに屬する各國の無産政黨の幹部、並びに之れと指導精神を同じうする政黨、勞働組合の指導者は、全部社會民主主義者なのだ。

之等の社會民主主義者は、現在に於ては、資本家の分け前を貰ふために、資本家の産業合理化にも協力すれば、支配階級の帝國主義政策を支持して、植民地の搾取

にも協力するし、帝國主義戦争をも支持すれば、労働階級弾壓の、支配階級の白色テロルにも協力するのだ。

八

社会民主主義者は何故労働階級の敵か？

それなら、社会民主主義者は何故労働階級の敵なのか？

それは、社会民主主義者が、労働階級の生活の改善と解放は、階級協調と、社会進歩によつてできるのだと説くことによつて、事實は彼等が、労働階級の生活改善と解放とを放棄し、かへつて労働階級を抑壓して、資本主義社会の安定と発展に協力しつゝあるからなのだ。

これからその事を明かにすることにしようが、その前に、彼等の主張を掲げて、彼等の主張が、階級協調に立脚するものであることを實證してをかう。

まづ最初に、英國労働組合總評議會の書記シトリンの意見を掲げやう。シトリンは茲にも言ふ通り英國労働組合總評議會の書記であるので、彼れの主張をきけば、英國の社会民主主義者全體の意見が解る譯だ。

『新經濟制度に近づくためには、社会的爆發(革命を意味す……著者)の道によつてではなく、唯労働組合によつて大きな生産管理の共同決定權が許容されるが如き、計畫的再編成の途によつてのみ可能である。』『現在では誤解と敵意とが企業家と労働組合との間の關係を攪亂して居る。何か有益なものをもたらす爲めに、之等の感情は除去せられなければならぬ。』『組織された労働者層の訓練と忠誠とは、單に争議を煽り立てる爲めのみ利用されるべきであらうか。それともそれ等は、建設的目的の爲めに、即ち一般の幸福の爲めに利用され得るものであらうか。一般的に言つて私は、次のことを確信して居る。即ち最大限の労働生産性、生産費の低下、及び

商工業の全部門に於ける空廻りの除去を達成するに際して、労働組合にもそれに協力させることが出来るだらうと。労働者に就職を保證し、また合理化の進展に伴つて増大する生産性と節約とによつて達成さるべき利得の適當な分け前を保證する處の先約をさへすればよいのだ。』

こゝに掲げたものは彼れが、マンチエスター・ガーデエン紙に發表した「産業に於ける諸關係の次の發展段階」と言ふ論文の中の一部であるが、論文の趣旨は諸君も見らるゝ通り、「新社會の建設は革命によらなくとも、労働者が生産の管理權を得ればよい。現在では勞資の關係は對立の状態にある。これはいけないことだ。労働者に資本家の利益の一部を與へれば、喜んで産業合理化にも協力する」と言ふのだ。これは純然たる階級協調の理論であり、資本主義社會の存續を是認した意見であるのだ。

次には日本の社會民主主義者の本元、社會民衆黨の主張を掲げてみやう。

『現在の所謂生産には、土地、労働、資本の三拍子が揃つて居なければならぬのである。さて此三拍子がどんな關係にあるかを考へてみると、私はどうしても夫婦や、親子の血縁と言ふことに思ひ及ばざるを得ない。』『元來土地、労働、資本の三要素は、一家庭の中に親密なる協同生活を營むべき筈のもので、今日の如く勝手に離散すべきものではない。故に改革の要點は、此の三要素に協同生活をなさしむるにある。』

これは社會民衆黨の綱領の解説であるが、土地、資本、労働の關係を夫婦の關係と見、その協力を説いて居る點、また資本の必要を説いて資本家の存在を是認して居る點、階級協調を主張して居る點等、そのどの點をとつてみても、英國の社會民主主義者の意見と何等の變りはないのだ。社會民主主義者は、口を開けば各國の特

殊性を強張するが、彼等の主張はどこの社会民主主義の主張をとりあげても、ピツタリと符合するのだ。

以上の二つの主張で、社会民主主義者が階級闘争と革命とに代へるに、階級協調と社会進化を説くものであることがハッキリしたと思ふ。

次には、この彼等の階級協調の理論が、労働階級を裏切るものであることを明かにすることにしよう。

前にも述べた通り、英國の社会民主主義者も、日本の社会民主主義者も、労働者の生活の改善と解放が、階級協調でできると説教するが、そんな事は絶対にできない事なのだ。例へば茲に資本家が労働者に賃銀値下げを持ち出すとする、吾々労働者は賃銀を値下げされない爲めには、之れを拒絶するし、若し吾々が賃銀値上げを持ち出せば、資本家の方では値上げがいやで之れを拒絶するのだ。此の結果は争議

にまで行く事はわかり切つた事だ。之れを各國の労働者の現在の生活からみてみよう。

諸君も御承知の通り現在各國の資本家は、自己の安定と、資本主義の持続の爲めに産業合理化を徹底的に押し進めて居る。日本でもまた同様だ。此の産業合理化の爲めに、各國の労働者の生活は極度に窮乏化され、その生活が動物の生活線にまで引き下げられて居ることは、最早や周知の事實だ。毎日の新聞は米國には三百萬の失業者があり、獨逸には二百餘萬、英國にも百五十萬餘の失業者があると報じ、之等の失業者がパンを得るために、猛烈な示威運動をやつた事さへ報せられて居る、日本も最近の産業合理化のおかげで、労働者の賃銀は引き下げられ、時間は延長され、多數の工場は閉鎖されて、吾が國でも失業者は、政府の發表では三十萬だが、確實な處は約百萬だと言ふ話だ。しかも工場で働いて居る連中でも、めしが食ひか

ねて居るのだ。労働者がこんな状態であるに拘らず、資本家は合理化はこれからだと言ふて居る。資本家が、自己の安定と発展の爲めに、労働者を餓死の線にまで追ひ立てゝ居るのに、どこに階級協調の餘地があり、協調によつて労働者の生活が改善される餘地がどこにあるのだ。世界各国の現状は、單なる經濟的要求の貫徹のためにも、死を賭しての闘ひ以外に、絶対に途の無い事を物語つて居るでは無いか。これは吾々労働者が、工場の中の苦しい生活から知り得た、動かすことの出来ない事實なのだ。

單なる經濟的要求の問題だけをとつても、前にも述べだ通り、協調の餘地は絶対に無い。まして労働階級が、資本家の社會である現在の資本主義社會を倒して、一切の生産機關が社會化される、労働者自身の社會を作らうとするとき、利害を異にする現在の支配階級が、彼等が持つて居る一切の經濟力と、政治權力を動かして、

力によつて労働階級を撃滅しやうとするのは、火をみるよりも明かだ。一社會から一社會への變り目には、舊社會の支配者と、新社會の建設者との間に、武力による闘争があり、それによつてのみ社會が變革して居ることは、歴史の證明するところだ。近き例は明治維新をあげればよい。

一つの社會から、次の社會への變革が、何等の闘争も無くできるなど、言ふことは、紙の上ではかくことは出来るが、事實としては絶対にあり得ないことなのだ。處が社會民主主義者は、吾々労働階級が體驗から得た此の事實と、歴史の證明する此の事實を無視して、階級協調と社會進化で、労働階級の生活の改善と解放は可能だと説く、これは事實を曲げるものでなくて何であらう。

これは彼等が、労働階級の生活の改善と労働者の解放を念とするものでは無く、資本主義社會の安定と、その發展を念とするものであるからなのだ。彼等が労働階

級の敵である理由は此處にあるのだ。

社会民主主義者はどうしてできるか？

上に述べた通り、社会民主主義者は労働階級の許し難き敵なのだ。此の社会民主主義者は、それなら一體どうしてできるのか？

労資の対立がはげしくなるにつれて、労働階級は生活の體驗から、資本家の奸策を見破り、彼等の偽瞞に乗らなくなる。そこで資本家は、労働階級をごまかす爲めの有効な手段を考へ出す、そして考へ出したのが労働組合の幹部を利用する方法だ。資本家は、自國の労働者や、植民地の労働者をシボツて得た利益の一部をさいて、労働組合の幹部を買収し、その幹部が労働者の上にもつ影響力を利用して、労働者を偽瞞するのだ。利益で動かぬものには猛烈な壓迫を加へて、彼等が完全に

資本家の味方となるまでオドシつけて終ふ。社会民主主義者は、此の利益につられて資本家の犬となり、また彈壓に恐れて資本家の軍門に降参した連中なのだ。鈴木文治、西尾末廣、松岡の徒は前者であり、日本大衆黨の麻生、全國民衆黨の幹部連中も此の手輩だ。勞農大衆黨、舊無産大衆黨、勞農黨の幹部は彈壓に恐れて社会民主主義者となつた奴等だ。また、四・一六事件の直後、大山、細迫等は、政府の彈壓に恐れて、多年の僚友を捨て、左翼の陣營を逃げ出したが、之れは支配階級が、彼等を自分の手先とする爲めに、意識的に彈壓して、彼等を社会民主主義者の線にまで追ひ込んだのだ。それならこそ、新勞農黨はその結黨を許可せられ、また今回の總選舉に際しては、支配階級はブル新聞を動かして、大山一派の爲めに好意ある宣傳をしたではないか、社会民主主義者は斯のやうにして出来るのだ。彼等の主張が、マルクス、レーニンの階級闘争と革命の理論で無くして、之れと

相反する、階級協調と、社會進化の理論であることも、之れでウナツける譯だ。

資本家はそれなら、右から左までの社會民主主義者を、何故必要とするか？ 資本家は右から左までの社會民主主義者を、労働階級の左翼化の程度に應じて、それ／＼利用して、労働階級が左翼化して行くのを喰ひ止める役目をさすのだ。資本の矛盾が増大し、階級間の闘争が日一日と尖鋭化して行く今日では、社會民主主義者は支配階級の爲めに、大きな役割を演じて居るのだ。既に前に述べた通り彼等は、支配階級の一切の政策を支持し、之れが遂行に協力して彼等の役目を果して居る。だがその反對に社會民主主義者の裏切りのおかげで、労働階級の生活は日一日と悪化するばかりだ。

社會民主主義者は、その發生そのものからして、既に労働階級の敵であり、殊に現時に於ては、支配階級と共に、労働階級の正面の敵であるのだ。

社會民主主義者は如何に労働階級を裏切つたか？

これまで私は、社會民主主義者の理論を解剖して、また、彼等の發生のマジミチをあばいて、彼等が労働階級の裏切者であり、敵であることを述べて来たが、これからは、世界各国の社會民主主義者が、如何に労働階級を裏切つて来たかを、具體的な例をあげて、諸君にお目にかけてやう。

まづ最初に獨逸社會民主主義者の裏切りからはじめやう。

獨逸社會民主主義者の裏切りの最大のもの、世界大戰の際の裏切りと、一九一八年のドイツプロレタリア革命に對する裏切りだ。一九一四年の世界大戰は諸君も知らるゝ通り、帝國主義國家間の、植民地分割、新市場争奪の戦争であるので、社會運動の指導者は、労働階級の利益の爲めに此の戦争に反對し、此の戦争を、労働

者の××××××××として××すべきであつたことは言ふまでも無い事だ。處が獨逸の社會民主主義者は、各國の社會民主主義者と同様に、大戦が勃發するや、戦争に反對するどころか、支配階級の掲げる『××擁護の爲めに』のスローガンを、そのまゝ自分のスローガンとして、戦争参加のために労働者を煽動したのみか、戦争中は、支配階級の代理人となつて、戦時必需品の製造の爲めに労働者を動員するなど、完全に愛國社會主義者となりおほせた。彼等の裏切りの爲めに、労働者の既得権が蹂躪されたことは言ふまでも無い事だ。

世界大戦に労働階級を裏切つた獨逸社會民主主義者は、一九一八年のドイツ革命に於ては、完全に支配階級の支持者となつて、労働者の國家を建設せんとする獨逸労働者の革命を絞殺するのみか、獨逸革命の指導者であるカール・リーブクネヒト、ローザ・ルクセンブルグの兩闘士を、支配階級に代つて自分の手で殺しさへしたの

だ。獨逸の社會民主主義者は、獨逸労働階級の最悪の敵であるのだ。

最近の例としては、獨逸社會民主黨は、獨逸労働階級の唯一の自衛團である、赤色戦士同盟に解散命令を發することによつて、大きな裏切りを重ねて居る。

赤色戦士同盟は、ドイツの労働階級が、白色テロルに對する、自己防衛の組織である。ドイツの資本家階級が、赤色戦士同盟の存在を呪ふて居る事は言ふまでも無い事だ。資本家階級は何回も同盟の解散を命じたが、その度毎に同盟の大衆的な示威運動の爲めに、解散命令を撤回せざるを得なかつた。だが同盟の存在は、産業合理化を積極的に押し進めて、獨逸資本主義の安定と發展を計らんとする、獨逸の資本家階級にとつては許し難き事であるので、支配階級は昨年四月十七日第何回目かの解散命令を、社會民主黨と資本家との聯立内閣を出させたのだ。

だが此の解散命令も、再び同盟の全國的な武装せる示威運動の爲めに失敗に終つ

た。

聯立内閣の社會民主黨出身の大臣は、此の同盟の解散命令に承認を與へ、勞働組合の社會民主主義幹部は、資本家階級に抗議する爲めの示威運動を組織せしやうともせず、否反對に之れが邪魔しさをへしたのだ。

獨逸の勞働階級が、偉大な力をもつ資本主義トラストの支配の下に、その血の最後の一滴までもシボリとられて居るとき、唯一の防衛組織である赤色戦士同盟の解散に協力する獨逸社會民主主義者は、獨逸の勞働者のみで無く、世界の勞働階級の敵であるのだ。

次にはイギリスの社會民主主義者マグドナルド一派の裏切り行爲に移らう。彼等もまた、獨逸の彼等の同僚と同様の裏切りをやつて居るのだ。

イギリスの社會民主主義者もまた、帝國主義戦争反對を宣言したバーゼルの決議

を裏切つて、資本家のための世界大戦に参加し、ロシア革命の經驗から、日一日と革命化した英國勞働階級の彈壓に、支配階級と協力した點では、獨逸の社會民主主義者と同罪だ。一九二一年、一九二六年には彼等は、英國炭坑夫の争議が、生活改善の闘争から、權力奪取の闘争にまで進轉しやうとしたのを、支配階級に協力して、遂ひに此の争議を惨敗に終らせてしまふたのだ。

一九二七年七月には、彼等はまた大きな裏切りをやらかした。それは保守黨内閣の提出した、勞働組合法の改悪に對する彼等の協力である、

ポールドウイン一派の保守黨内閣は、一九二七年七月『一般民衆の利益、全社會の平和確保』の名目の下に、勞働組合法の改正案を議會に提出した。

この改正案の主要點は左の如きものであつて、在來の勞働組合法に比較すれば、非常に反動的なものであつた。

一 總同盟罷業は違法にして、且つ何人と雖も之れに参加することを拒絶したるの故を以て處罰せられざること。

二 威嚇は違法にして且つ何人と雖も自己の意志に反して脅迫によつて労働せざるべきことを強制せられざること。

三 何人と雖も自ら欲するに非らざれば政黨の基金に醸出すべきことを強制せられざること。

四 有資格官吏は國家に對して専心の忠勤をぬきんずるを要すること。

此の改悪法案を保守黨が議會に提出したのは、言ふまでも無く、一般民衆の利益のためでも、また社會一般の利益のためでも無く、實は、イギリス産業界の不振から來る生活難と、世界の革命的運動に刺戟された英國の労働運動が、漸次革命化して來て、争議は經濟的な要求の闘争から、國家權力に對する政治闘争にまで轉化せ

んとする傾向をみせ、炭坑争議其他の大半議が相續いで勃發したので、之れにオヂケをふるつた支配階級が、労働組合の活動の自由を制限せんが爲めに、保守黨内閣をして提出せしめたのであつた。

このやうな理由から出來上つた案である以上、此の案が反動的な改悪案であつた事は當然のことであるのだ。

即ち前掲の通り、該案は凡ゆる總同盟罷業を違法として、之れが指導者は處罰されることになつて居り、争議の際の工場見張りには脅迫罪として罰せられ、労働者の政治運動に對する醸金を妨害し、官公吏の團結の自由を剝奪したものであつた。此の法案の通過は、英國の労働組合運動の百年の成果を、一朝にして無に歸せしめるものであるのだ。

それなら英國労働黨は、保守黨のこの反動的な法案の提出に對して、どのやうな

態度に出たか？ 彼等は此の法案を粉砕する爲めに、その指導下にある四百萬の組合員を動員して一大示威運動を敢行したか、また總罷業の方法に出たか？ 處がさうではないのだ。彼等は只僅かに議會内で二名の議員が反對の演説をしたのみで、之れを議會外に持ち出して、示威運動、總罷業を組織する爲めに労働者を煽動しやうともせず、それ以外の何等の行動にも出なかつたのだ。それが爲めに此の改悪法案は、多數を擁する保守黨の爲めに、ヤス／＼と可決せられて終ふた。

此の法案通過後の英國労働階級の生活は、日一日と極度の窮乏状態に押しやられ、多數の労働者は此の法案の犠牲となつて投獄せられて居る。これは英國労働黨に巢喰ふ社會民主主義幹部の裏切りの結果なのだ。

佛國に於ても、其他の國に於ても社會民主主義幹部は、獨英二國の彼等の同僚と同様の行動をなしつゝあるのだ。

外國の社會民主主義者の裏切り行爲はこれ位にしておいて、次には日本の社會民主主義者の例にはいらう。

鈴木文治、松岡、西尾の連中が支配階級の忠實な番犬であることは今日では、最早や誰れ知らぬものは無い。今回の總選舉で彼等が完全に失敗したのは、彼等が多年、労働階級の生活擁護の爲めに作られた労働組合を、資本家の利益擁護の機關として、労働階級を偽瞞し、搾取に協力して來たことが、左翼のシウネウな闘争によつて、大衆の前に曝露された結果であるのだ。

大正十四年に、總同盟から分離して日本労働組合評議會が組織されたことは、諸君が既に知つて居られる處だ。この分裂は、鈴木、西尾、松岡の一派が、總同盟を協調的組合たらしめんとする計畫に對する、左翼幹部並びに大衆の闘争の結果であるのだ。

此の闘争の途中に於て、鈴文一派は、左翼の指導者に彼等は共産主義者だと言ふ言葉をなげつけて、左翼を支配階級の弾壓の目標とさした。昨年の全国同盟の分裂のときも、また彼等は同様の態度をとつた。

彼等は戦闘的な幹部や大衆が彼等に反対すれば、組合を分裂させるのみか、支配階級の弾壓を支持しさへするのだ。

全国同盟の分裂は、勿論大衆の左翼化の結果であるが、表面の理由は、第一回の普通選挙のとき、彼等が資本家から選挙費用を貰つたことが、その一理由となつて居る。支配階級に買収された彼等の事だ、選挙費用はおるか、彼等の生活費そのものも、資本家から出て居るのだ。

大正十四年以來、日本の労働組合運動の合言葉であつた、全国労働組合會議の結成を邪魔したのも彼等だ。全国労働組合會議の結成は、資本の攻勢に當面した、そ

の當時の労働階級の聲であつたので、日本に於ける唯一の革命的労働組合であつた、現協議會の前身である日本労働組合評議會は、此會議成立のために全力を盡して闘ふたが、此の會議も彼等の時期尚早論のために、いつも失敗に終つた。その反對に彼等は、右翼組合のみの結成に努力して居る。

争議に於ける彼等の裏切り行爲も露骨をきはめて居る。野田三千の兄弟の七ヶ月にわたる大争議を資本家に協力して完全に惨敗させた彼等は、最近では、左翼分子七名の鹹首から争議に入つた遞友同志會の争議を、選挙の爲め多忙を理由として、調停委員會の設置を警視廳に申し込み、争議の原因である左翼七名の鹹首を承認して遂に争議を惨敗に終らせた。彼等にとつては代議士になることは、争議に勝つことよりも大事なのだ。全国同盟の大争議は、いつも彼等の爲めに惨敗に終つて居る。労働者の革命化を喰ひとめる爲めの、偽瞞と分裂の國際的な機關である國際労働

會議を支持し、労働階級の國際的團結を阻止するのも彼等であり、太平洋沿岸の労働組合の國際的團結である、太平洋労働組合會議に反対し、之れと對立する汎亞細亞労働組合會議を組織して、亞細亞の各國に於ける労働階級の、國際的團結を邪魔をして居るのも彼等なのだ。

社會民衆黨の社會民主主義幹部の裏切りは、とても數へきれぬ程多いのだ。

次には日本大衆黨幹部の裏切りに移らう。

日本大衆黨の幹部も、裏切りの事實をもつ點に於ては、鈴木、西尾、松岡の徒に劣るものではない。彼等の資本家に負ふて居る役目は、社會民衆黨の大衆が左翼化して、左翼の陣營に行かんとするのを喰ひ止める事と、未組織並びに自黨の大衆を左翼化さぬ事だ。その役割を果たす爲めに、彼等は常に革命的な言辭を使ふて居る。だが行動は革命的であつてはならぬので、彼等は言ふだけであつて、その通り

には決して行動しないのだ。

日本大衆黨の大衆が、國際労働會議の偽瞞性を見破つて、此の會議の否認を叫んで居るに拘らず、國際労働會議尙ほ利用の價値ありなど、言ふて、之れに参加して居るのを見ても、彼等の正體は解るはずだ。組合同盟、總聯合の大衆が、全國組合會議の必要を叫んで、彼等をして之れを提案せしめたのに、會議にはいつもサボをきめ込んで、組合會議を準備會のまゝで流産させたのも彼等だ。

今日に於ては彼等は、自黨の大衆が左翼組合の指導下に行動しつゝあるのに對して、除名と分裂とを以て之を脅かしつゝ、彼等が資本家に負はされた責務を忠實に果たさんとして居る。

麻生一派が田中義一から何萬圓か貰つたと言ふので、黨下の大衆から清黨運動が起つた事があるが、最近では同黨の一代議士が、疑獄事件として問題になつて居

る、明政會事件に關係して、何千圓をかせしめたと言ふ噂がもつばらである。眞疑は知らないが、彼等がやり相な事ではあるのだ。彼等もまた資本家の飼犬だ。全國民衆黨の指導者に負はされた任務は、日本大衆黨の指導者の任務と同様だ。西尾、松岡、鈴文の裏切りに憤慨して、正しき左翼の指導に従はんとした大衆を、彼等は全國民衆黨を組織することによつて喰ひ止めたのだ。處が最近二三の支部は、山鐵、大矢が資本家に買収された事實があると言ふので、聲明書をたゞきつけて全國民衆黨を脱退した。

全國民衆黨の大衆も、左翼の指導下にある全國民衆刷新派の運動の爲めに、急速に左翼化しつゝあり、山鐵、大矢等は、日本大衆黨の幹部同様に、これに對して猛烈な壓迫を加へつゝある。最近全國民衆黨の指導者は、日本大衆黨と合同すべく策動して居るが、彼等の負はされた任務が同一であることを考へれば、それは當然のこと

なのだ。

左翼の各地方無産政黨の指導者である水谷長三郎、堺利彦、山川均等も、日本大衆黨の連中と似たりよつたりだ。彼等も革命的な言葉で大衆を偽瞞するが、決して革命的な行動はしない。彼等は筆をとれば『左翼は小兒病だ』と左翼を罵倒する。だが支配階級の彈壓に恐れて、左翼から逃げ出すときは、誰もが此言葉を使ふので、最近では此言葉は、投げつけられる左翼をきずつける言葉ではなくて、かへつて投げつける連中の正體を曝露する言葉になつて居る。此の言葉を使ふた水長、堺、山川、お次に出て来る大山、細迫の連中を見よ、彼等は日一日と没落しつゝあるでは無いか。

最後に残つたのは、最も新しい左翼社會民主主義者大山、細迫等の手輩だ。彼等は言ふ、『吾々は大衆行動を運動の基調として居り、また帝國主義戦争にも反對す

るので裏切者では無い』と。だが、彼等もまた許し難き裏切りをして居るのだ。即ち新勞農黨を組織したことこれだ。

新勞農黨の提案に就ては、彼等は色々の理屈をつけて居るが、事實は三・一五、四・一六の彈壓と、此の彈壓を押しつけて進む大衆の左翼化に恐れた結果であることは言ふまでも無いことだ。それならこそ彼等は、一切の反對を無視してまでも新勞農黨を組織したのだ。今や彼等は、唯一の労働者政黨である×××××と對立する組織を作つて大衆の左翼化を喰ひ止め、左翼労働組合の分裂すら策しつゝあるのだ。之れが裏切りで無くて何であらう。

新勞農黨の組織以來、左翼に對する支配階級の彈壓は、在來よりもより露骨且つ猛烈になつたことは、彼等と雖も承認しない譯にはゆくまい。これは彼等が、新勞農黨を組織することによつて、支配階級に協力した結果なのだ。今や彼等は社會民

主義者の正體を現はして、日本大衆黨、社會民衆黨等の幹部と合同によつて手をつながんとして居る。

大山、細迫等の裏切りは、その罪死にあたいすると斷言し得るのだ。

以上が左翼社會民主主義者から、右翼社會民主主義者までの裏切りの事實なのだ。

社會民主主義者は協調の爲めに如何なる戦術をとるか

上に述べたところで明かである通り、社會民主主義者はみな、労働階級の許し難き敵であるのだ。従つて労働階級は、自己の生活の改善と解放の爲めには、彼等と徹底的に戦はねばならぬ。だが労働階級が社會民主主義者と戦ひ、彼等を労働階級の中から放逐する爲めには、彼等が労働階級を吾々の敵に賣る爲めに、どのやうな戦術をとつて居るかを知り、それに對して戦ふことが必要だ。

彼等は一體どのやうな戦術をとつて労働階級を偽瞞し、支配階級に賣りつゝあるのか？

現在世界各国の社会民主主義者が、資本家に協働するために、労働階級偽瞞の戦術として居るものは、各國とも共通のものである。日本の社会民主主義者は、何かと言へば日本の特殊事情を強張する。だが彼等の戦術は何等特殊なものではないのだ。日本の社会民主主義者が採用して居る戦術を次にあげてみよう。(一)従業員を株主たらしめる方法、(二)労働者銀行の創立、(三)争議に對する仲裁裁判制度の採用、(四)労働条件契約のための協調的團體交渉制度、(五)産業合理化に協力する爲めの産業平和會議の開催、(六)國際労働會議への参加、(七)議會主義戦術、之等が主なるものだ。

社会民主主義者は之等の方法の採用で、労働階級の生活は改善され、解放される

と言ふのだ、だがそれはマツカな嘘だ。こんなことをやつて居れば労働者は、資本家と社会民主主義者の爲めに、骨までシヤブられて終ふのだ。

これから簡単にこれ等の方法を検討て見やう。

第一の従業員を會社の株主にする方法や、労働銀行の設置の方法はアメリカでよくやられて居り、日本では日本労働組合總聯合の阪本孝三郎等が此の手をつかつて居る。處がアメリカでは現在三百萬の失業者があつて、本年の二月の六日には、アメリカ全國至る處、我々にパンを與へよと叫ぶ、失業者の猛烈な示威運動があつた事をみても、そんな事で労働者の生活すらよくなるもので無い事は解るはずだ。繁榮の國だと自稱するアメリカに於てさへそれだ。日本に於ては現在、労働者は株式や銀行を作るところか、毎日のパンにさへ困つて居るのだ。

調停裁判制度も、各國の社会民主主義者が双手をあげて賛成して居る。日本では

前にも書いた通り、二月の遷友同志會の争議を調停裁判にかける爲めに、社會民衆黨幹部は警視廳へ調停委員會の設置を申込んで居る。だが資本家の手先である國家の官吏を委員とした調停委員會が、労働者に不利益な決定を下すことは、どの國でも同様だ。また、調停委員會の決定は、資本家にとつては無力きはまるものなのだ。そのよい例は獨逸にある。

一九二八年下半年期、獨逸では鐵鋼業の資本家が二十一萬五千人の労働者に締出しをくわせ、數ヶ月にわたる争議が勃發した。結局争議は調停委員會にかけられて、委員會は解決條項を決定したが、資本家側が之れを蹴つたので、争議は再び繼續された。調停委員會などを利用して居れば、労働者はいつもまけるに決まつて居るのだ。

資本家との團體交渉も、世界各國の社會民主主義幹部がよろこんで使つて居る方法だ。殊に現在では日本の社會民主主義者は、労働者を偽購し、資本家に賣るために、此の方法をこのんで採用して居る。

勿論團體交渉は決して悪いものではない。労働者が個々に契約するよりは、團體で契約した方が利益であるので、此の方法も採用せねばならぬが、産業合理化を押し進めて居る現在の日本では、資本家は社會民主主義者の偽購的な團體交渉なら應ずるが、それ以外の交渉には應ずるはずはないので、労働者は労働者の唯一の武器である、ストライキ、サボタージュ、示威運動等によつて労働條件を改善するの外は無いのだ。労働者は資本家の歓迎する、社會民主主義者の偽購的な團體交渉をけちらさねばならぬ。

産業平和會議は最初イギリスの大資本家モンドによつて提唱され、労働黨の幹部連中の大賛成で開催されたが、其後獨逸、濠洲其他の國でもやられて居る。日本で

は、資本家との會合なら人後におちない、總聯合の阪本孝三郎が提唱しかけた事がある。

産業平和會議は、イギリス産業の發展を計ることがその目的であると言ふのだが、資本主義制度肯定の上に立つた會議なのだ。資本家の腹は、社会民主主義者を味方として、自國內の産業合理化政策の遂行と、自己の植民地政策を徹底的に遂行しやうと言ふのだ。

植民地搾取のおあまりを頂戴して居る社会民主主義者が、双手をあげて賛成するのも決して無理では無いのだ。だがこんな會議が永續すれば、労働者が平和を樂しむ處は、墓場より他にはどこもなくなる譯だ。

國際労働組合會議への参加も、彼等が重きをおく方法の一つであるのだ。國際労働會議はもと、ロシア革命に刺戟されて革命化した、ヨーロッパの労働者の、國際

的團結を邪魔する爲めと、労働者の革命化を妨止する爲めの、支配階級の國際的偽瞞機關として設けられたものであるが、今日に於ては最早や、各國の労働者にその正體を見ぬかれて居つて、日本の労働階級もそれを否認して居る。それにも拘らず彼等社会民主主義者は、國際労働會議尙ほ利用の價値ありとか何とか言ふて、之れを支持して居る。これは社会民主主義者にとつては當然の事なのだ。だが労働階級は、この國際的な偽瞞と分裂の機關を破壊しなければならぬ。國際労働會議の否認は、社会民主主義者の頭痛の種だ。

議會主義も、彼等の主要な戦術の一つだ。彼等は政治運動に於ては議會萬能主義者だ。彼等は労働階級の政治的な要求を、ストライキとか、サボタージュとか、或は全國的な示威運動とか言ふ、大衆的な行動によつて解決しやうとはしない。反對に彼等は、労働者の要求を議會内にもち込んで、議會内での法律の改廢の範圍に、

闘争をとち込めやうとするのだ。彼等にとつては所謂立憲的な政治闘争以外に何者もないのだ。それは彼等が、労働階級の政治闘争は、いつの場合も國家權力に直面して居つて、ストライキ、サボタージュ、示威運動等の武器を背景としてやれば、それはすぐに、資本主義社會否定の革命戦争にまで飛躍することを十分に知つて居るからなのだ。斯のやうに彼等は、議會内での闘争を唯一の目標とするが故に、議會内に一人でも多くの代議士を送らうとする。さうする以外に労働者をゴマかす方は無いからだ。だが日本では、彼等が議會内で繁榮する日は絶対に來はしない。彼等は英國の労働黨をゆめみて居るだらうが、日本の労働者や農民は、專制的な支配階級の獨裁政治の爲めに、急速に議會を××するやうになるに違いないから。今度の選挙をみても、その事は言へるはずだ。所謂無産政黨の代議士は、前選挙の八名から四名に減つたでは無いか。これは單に無産政黨戦線の分裂の結果では無いの

だ。それは日本の労働階級が、日常の生活體驗から、議會内だけでの闘争では、労働者の生活改善も、解放も絶対にあり得ないことを知り、社會民主主義者に對して批判者の立場にたつた結果なのだ。労働者は今一歩前進して議會萬能主義を粉碎せねばならぬ。

以上によつて社會民主主義者の戦術が批判された譯だ。社會民主主義者はこれ等の戦術を、アムステルダムに本部をもつ、第二インターナショナルを中心として、國際的に連絡をとつてやつて居る。従つて日本の労働階級は、此の第二インターナショナルを粉碎する爲めに、世界各國の革命的な諸團體と連絡をとつて、徹底的に戦はねばならぬ。

労働階級は社會民主主義者と如何に戦ふべきか？

これまで述べたところで、社会民主主義者の正體はハツキリと解つた。彼等は労働階級の許し難き敵なのだ。殊に今日日本では、支配階級が資本主義の安定と、來るべき×××戦争の爲めに、労働者の一切の負擔に於て産業合理化を押し進め、しかも彼等社会民主主義者が、支配階級の最も有力な協力者として、労働階級を窮乏と貧困のドン底におとし入れつゝある以上、労働階級は自己の生活の改善と、解放の爲めには、社会民主主義者と徹底的に闘はねばならぬことは言ふまでも無い事だ。日本の労働階級は、その前身日本労働組合評議會の時代から資本家ならびに社会民主主義者に向つて徹底的に闘ふて來た、現在日本に於ける唯一の革命的労働組合である、日本労働組合協議會の指導の下に、外國の、また植民地の革命的労働者と提携して、日本の、また外國の社会民主主義者粉碎の爲めに戦ふべきである。かくしてのみ、はじめて日本の労働階級の生活は改善され、新社會の建設は可能であるのだ。

右から左までの社会民主主義者を粉碎せよ。

××的労働者の×××團結萬歳。

日本の××的労働者萬歳。

—(一九三〇、三、三〇)—

昭和五年五月廿一日印刷
昭和五年五月廿五日發行

著作權

所有

社會民主主義者と労働階級

【定價金十錢】

著者 山本光一

發行者 市川義雄
東京市牛込區早稻田鶴卷町四七一

印刷者 渡邊美代吉
東京市神田區錦町一ノ一九

發行所

東京市牛込區鶴卷町四七一
振替東京六七五一九番

希望閣

【東京印刷製本聯盟行】

労働者文庫

- 1 産業合理化と労働階級 〇・一〇
- 2 社会民主主義と労働階級 〇・一〇
- 3 失業といかに闘ふべきか 〇・一〇

日本労働組合評議會編

工場代表者會議の戦術

〇・一五

0.10